

池田町の“道徳の実行・推進”の取り組みについて



久保田 美洋 議員



池田町青少年健全育成町民大会

今年4月から小学校で、道徳教育の授業が始まり、来年4月より中学校で特別教科・道徳が始まり、2022年高等学校の学習指導要領で、必須科目「公共」を公表、道徳教育推進教師を置く事を規定しています。新道徳は、人間の生き方を考え、主体的な判断の基、自立した人間、他者と生きる為の基盤と為る道徳性を養うとされています。戦後73年、道徳教育授業が始まる事は、喜ばしい事。

お互いがお互いを支え合う、家庭・学校・地域が一丸と成り、池田町に生まれて良かったと思える環境の中、皆が自分の事だけから卒業、広い視点で物事を見る事が大切。心豊かな人生・楽しい家庭・住み良い社会を築き、町長は、町づくりは人づくりと宣言されて居ます。超高齢化社会を支え、安心して暮らせる様、道徳の一步を踏み出す時、池田町は道徳の町、道徳推進運動、道徳アドバイザー等、池田町の道徳実行・推進の取り組みについて伺います。

町長

池田町では以前より道徳教育に取り組み、平成28年より八幡小学校が道徳モデルパワーアップ研修校として県の指定を受け発表もして頂き、今年度も「ふれあいと感動の学校教育」という事で教科指導の中に入れて、思いやり・連帯の心を育てる」と言った準備を進め、取り組みを始めている。生徒・児童のみならず、青少年健全育成町民大会にて、各々の主張を通して参加の皆さんから大きな感動も頂いている。池田町として、元氣な挨拶運動・早寝早起き朝御飯運動・地域のおじさんおばさん運動等、唱和を致している。又、人口減少の中で、道徳関係の強化を進めていく。池田町は福祉の町として良い環境が出来ている。

全体を支え合ってゆく中で、道徳推進を含めての宣言・アドバイザーの認定等は、民生委員・福祉委員さんの御骨折りも有り、相当の負担も有るので、役員の皆様と検討をしよう。